



宇治市社会福祉協議会
(コラボネット宇治)キャプチャー
ほし(じゅん)

=支え合い、助け合い、励ましあって、つながる福祉=

社協だより

～コラボネット宇治～

2017
平成29年
3月15日

公式 twitter @uji_pyon



社会福祉法人 **宇治市社会福祉協議会**
(コラボネット宇治)

住所:〒611-0021
京都府宇治市宇治琵琶 45 総合福祉会館内

発行人:奥西隆三
TEL:0774-22-5650 FAX:0774-22-5654
URL:http://uji-shakyo.net Email:mail@uji-shakyo.net



～学区福祉委員会では、活動に協力頂ける参加者を募集しています～

学区福祉委員会は、誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる地域を目指し、おおむね小学校区ごとに作られた地域福祉推進のためのボランティア組織です。昭和60年から平成8年にかけて22の小学校区域に組織されています。

各学区福祉委員会の活動は、本会のホームページ (<http://www.uji-shakyo.net/>) に掲載していますので、ぜひ確認してください。

今回は、宇治市学区福祉委員会連絡協議会の代表幹事 原保彦氏 (菟道第二学区福祉委員会 会長) と副代表幹事 古世哲也氏 (伊勢田学区福祉委員会 委員長)、伊藤弘子氏 (宇治学区福祉委員会 委員長) にお話をうかがいました。



Q&A

Q 活動を続けて何年になりますか？

原 さん：20年目になります。平成18年から会長をしています。
古世さん：私は13年活動しています。平成24年から委員長をしています。

Q 学区福祉委員になったきっかけは何ですか？

伊藤さん：宇治学区福祉委員会が組織された時には、公務員でしたが、町内会の人から頼まれて「名前だけ」から始めました。
原 さん：現役時代にロータリークラブに入会してもらい、川の清掃や、施設訪問をしていました。

Q 学区福祉委員に参加して良かったことは何ですか？

古世さん：地域の多くの方の知己を得て、交流ができたこと
伊藤さん：会社人間で地域とのつながりがなかったので、退職後の地域デビューをうまく持つことができました。

Q 印象に残っているエピソードを教えてください。

原 さん：平成22年7月31日、8月1日に菟道第二小学校の体育館で「防災ワークショップ」を開催しました。猛暑時の体育館での避難所生活は冷房設備がなく、蚊も多く、想像

以上に苦しい体験でしたが、とても良い経験になりました。
古世さん：自分にできること、できないことは別にして、色々な方から相談を受け、いくらか手助けができたことかなあ。
伊藤さん：声掛け訪問で担当しているおばあちゃんから、「あなたのこといつも気にしてるんや」と言われて、見守られているつもりが見守られていたことに気付かされたんです。

Q どのような地域になれば良いと思っていますか？

原 さん：住み慣れた地域で、健康で生き生き暮らせ、お互い連携を取り合い、その人らしく安心して暮らせるまちづくり。
古世さん：誰でも気軽に声をかけ合って、世間話の出来る環境。身近な方々の健康・悩み等がある程度分かりあえる関係。
伊藤さん：老若男女を問わず、お隣さんと挨拶が交わされる関係が持てる地域。

Q 活動を始めようと思われている方に、一言お願いします。

原 さん：仲間づくりにもなるし、自分の健康を維持するためにもぜひ始めてほしい!!
古世さん：難しく考えず、得意なことから参加してみてください。
伊藤さん：ご連絡をお待ちしています!!

“キョウヨウ”と“キョウイク”の身体障がい者デイサービス事業

本会では、身体に障がいのある方が外に出て、交流の機会を増やす「身体障がい者デイサービス」を実施しています。

デイサービスというと、送迎があって、お風呂に入って…というイメージですが、本会の「身体障がい者デイサービス」は、少し違います。

送迎はありませんので、公共交通機関等を使って総合福祉会館まで来ていただきます。1日ではなく、午前2時間や午後2時間ほどの時間の教室を展開しています。具体的には、手づくり教室、書道教室など、手先を動かすことをしたり、遊びのできるリハビリ教室やヨガ教室など、動かせる範囲で体を動かしたり、生け花教室やコーラス教室など、芸術的な取り組みを中心にする教室など、11の教室があります。(平成29年1月末現在)

宇治市内の身体障害者手帳をお持ちの方で、利用には手続きが必要です。詳細は、本会へお問い合わせください。



コーラス教室・ヨガ教室に参加している 新井温雄さん(視覚障がい)

宇治市視覚障害者協会の仲間に誘われて、ヨガ教室に参加したのが身障デイとの出会いなんや。自分に合った取り組みに参加できるのが魅力やなあ。そして、ここに来ると、たくさんの仲間に出会える。視覚障がいの人だけやないで、いろんな障がいのある人に出会えるんや。「今日、用」がある。「今日、行く」ところがある。」が大事やな。

身障デイに参加していて、「週休2日」が、なかなかいんやわ(笑)



うじピョンより報告



2016宇治福祉まつり!

たくさんのご参加、ありがとうございました!

昨年11月6日(日)に31回目の『2016 宇治福祉まつり』を開催しました。

あいにくの曇り空でしたが、約90の福祉関係団体と約6,000名の参加者が集まり、盛り上がりました。宇治中学校吹奏楽部のオープニング演奏から、各団体の活動PR、35店を超える福祉の店(模擬店)、相談・体験・展示コーナー、お楽しみ抽選会、キッズスタンプラリーなど、恒例の催しです。

年に1度、福祉まつりで「久しぶり!!」「元気やった!?!」と再会を懐かしむ人。実行委員として福祉まつりの準備に関わってくれる人など。

『福祉まつり』は、参加するひとりひとりの福祉の思い出づくりの場にもなっています。



いつもありがとう、そして、これからもよろしくお願いします! ～平成29年新春福祉のつどい～

1月28日(土)にパルティール京都にて、321名の方にご参加いただき、新春福祉のつどいを開催しました。本つどいは、長年地域福祉活動に携わっておられる皆様への表彰及び本会へ多大なご協力をいただいた皆様への感謝状の贈呈を行うとともに、福祉関係者が一堂に会し地域福祉推進への決意を新たにするために開催しています。

第1部の式典にて、表彰状を79名の方に、感謝状を9団体と個人3名の方にお渡ししました。

第2部の講演会では厚生労働省の地域福祉専門官の後藤真一郎氏を招き、「これからの地域福祉～我が事・丸ごと、地域共生社会の構築にむけて～」と題し、「我が事感」を持って地域課題に取り組む重要性について、ワークを交えながら学び合いました。



今後の地域福祉と社会福祉法人の役割とは ～社会福祉法が変わります～

平成29年新春福祉のつどいに引き続き、厚生労働省の後藤真一郎氏を招き、「今後の地域福祉と社会福祉法人の役割～宇治における『我が事・丸ごと』地域共生社会の構築を考える～学習会」を、市内の社会福祉法人等の役職員約40人が参加し、開催しました。本取組みに先立ち、市内に社会福祉法人へのアンケートを行いました。その結果にもとづきながら、後藤専門官からお話をいただきました。

地域では、少子高齢化を背景に、移動・買い物支援の問題や、生活困窮者などの地域課題が明らかとなっています。今までのように高齢者、障がい者、児童といった分野別の福祉施策だけではなく、社会福祉施設や法人が地域と連携して、問題を抱える世帯を丸ごとサポートするためのまさに「地域」を基盤にした仕組みづくりの必要性、そこにかかわる社会福祉施設や社会福祉法人の役割を学びました。社会福祉法人には、公益性を生かし、地域の様々な課題に柔軟に対応することが期待されており、宇治市においても、法人間や福祉分野以外の団体等の連携による、地域課題への対応の必要を確認しました。



地域で福祉活動を考えておられる皆さんへ～

－助成金制度が活用できます－助成金⇄共同募金

サロン あったらいいな！みんなが集まる近くの居場所 Hot! ふれあいサロン事業

本事業は、町内・自治会の皆様からお寄せいただいた歳末たすけあい募金の配分を受けて実施しています。市内には約120箇所のサロン【ふれあいの場】があります。身近な地域でひとりぼっちにさせないこの取り組みは、あなたとそのまわりにいる地域の方が主役となる活動です。

- * 高齢になっても健康を維持したい、近くに通える場があると生活にハリが出る
- * 子育て中の親子同士の情報交換や友達づくり…など

活動場所の多くは、集会所をはじめとする公共施設。宇治市は他市に比べて集会所が多いのが特徴で、身近な場所にふれあいの場をつくるのに適した環境があります。サロンに決まった形はありません。ラジ体操で知り合ったご近所の方と、自宅開放型サロンに取り組まれる例もあります。

ヒト・モノ・カネと情報を柱に、これまで市内で培われたサロン。そのつくり方、ノウハウや工夫・アイデアをお伝えします。必要に応じて下記の助成金制度が活用できます。



元気に過ごせるように健康体操、認知症予防などを行っています。仲間づくり、生きがいづくりにつながっています。

平成29年度の助成金の申請受付について

期間 平成29年4月3日(月)から4月28日(金)
(土日祝は除く)

〈対象事業〉

- ①概ね月1回以上、開催するもの。
- ②1回あたりの利用者の人数は、概ね10人とするもの。
- ③地域の相互の支え合いや仲間づくりを目的に、レクリエーション、創作・軽作業、体操、健康チェック、談話等を行うもの。

- ④特別な事情を除き、参加希望する方を常時受け入れられるもの。
 - ⑤明確な企画に基づく事業の具体的な計画を持つもの。
 - ⑥運営体制が整っており、自己調達、参加者負担の努力を行っているもの。
 - ⑦実施場所は市内にある次のような施設を利用するもの。
 - ・市内の公共施設、地域の集会所や集合住宅等の集会所、個人の自宅など。
- *ただし、政治活動、宗教活動を主たる目的とした団体や営利を目的とした団体、暴力団若しくは暴力団員の統制の下にある団体、趣味や同好的活動を主たる目的に集う団体は除きます。

宇治市における“福祉でまちづくり”の活動をサポート 「赤い羽根コラボ助成金」

市民の皆さんからご協力いただいた、「共同募金」を主な財源とし、宇治市内で活動をする当事者団体、ボランティア活動団体、NPO法人、その他市民団体が実施する、宇治市の幅広い地域福祉活動に対して、助成金申請を受け付けます。

子育てから高齢者の方に関わる様々な活動、地域での防災に向けての活動など、ご相談におこしください。

本助成金では「活動したいけれど、立ち上げまでの費用がない」というような新たに立ち上がった事業には、年間を通じた申請も受け付けています。

平成29年度の助成金の申請受付について

期間 平成29年6月1日(木)から6月30日(金)
(土日祝は除く)

※新規事業助成金のみ通年にて申請できます。
(使途に合わせて下記の助成金の申請ができます)

〈申請対象となる団体〉

・宇治市内に所在し、かつ宇治市内をその活動範囲とする、5名以上で構成される団体のうち、地域の福祉活動を進める財源となる本会会員募集及び共同募金運動に賛同する団体。

※下記団体は除く

- (1)政治活動、宗教活動を主たる目的とした団体
- (2)営利を目的とした団体
- (3)暴力団又は暴力団若しくは暴力団員の統制の下にある団体
- (4)社会福祉法(昭和26年法律第45号)第22条に定められた社会福祉法人
- (5)学区福祉委員会及び地区社会福祉協議会

〈対象となる事業〉

・地域における福祉のまちづくりに寄与する活動
※本会の他の要綱により補助金を交付されている事業は除く。

〈助成の対象期間〉

・4月1日から翌年3月31日まで
※申請時期よりも前の事業についても、適切と認められた場合は対象となります

助成金の種類	助成金の使途	助成限度額	助成割合
事業助成	団体が実施する事業に対する助成	1事業5万円 (上限:1団体3事業15万円)	事業費の3分の2を上限に助成
運営助成	団体が活動する経費に対する助成	1団体2万円	なし
新規事業助成 ※通年にて申請可	団体が新たに実施する事業に対する助成	2万円～10万円 但し助成額は実施する事業の規模・重要度に応じて決定	なし

申込方法

申請書類を本会または本会ホームページより入手の上、必要事項をご記入いただき、本会窓口にてご提出下さい。活動の内容や団体概要等伺います。

お問い合わせ、事業、運営に関するご相談：0774-22-5650(宇治市社会福祉協議会)

1㎡でできる社会貢献 ～自販機設置で地域福祉活動をサポートしよう～

企業・商店・地域の皆様等が所有される建物や空き地等のスペースに飲料用自動販売機を設置させていただき、その収益の一部を地域福祉活動の財源として活用する仕組みです。

現在も新たにお申出をいただいた事業所様敷地内に設置準備中。前回の社協だより発行時から3台増え13台が稼働しています。

設置に必要な面積は約1㎡。社会貢献のひとつとして、設置スペースのご提案をいただける方はぜひ本会まで。(電気代、設置に係る費用のご負担はおかけしません。)

本会会員へのご加入のお礼とお願い

多くの皆様に本会会員へのご加入と会費や寄付のご協力をいただきありがとうございます。ご協力いただいた会費は、身近な福祉活動を行っている学区福祉委員会の活動を支えたり、地域で暮らしにくさを抱える障がいのある人や高齢者を支えるための活動に役立てています。

4月から、平成29年度の住民会員募集が始まります。毎年、町内・自治会にご協力をいただきながら住民の皆様へ会員募集をさせていただいています。ぜひとも、引き続き、本会の会員としてご加入、ご協力をお願いします。※こちらに掲載している寄付金は、会費ご協力時に500円未満でご協力いただいたものです。

平成28年度のご協力状況

住民会員	9,508,000円
寄付金※	1,743,865円
事業所会員	853,000円
団体会員	534,300円
施設会員	305,000円
賛助会費	185,500円
特別賛助会員	805,000円

(平成29年2月1日現在)

うじピョンの「地元に出かけよう」 (催しなどのご案内)

※予定が変更になる場合もありますので、事前のお問い合わせをおススメします。
※各団体によって、電話等不在の場合もありますのでご了承ください。

サークル会員募集 (主催: 宇治市老人福祉センターサークル協議会)

内容: 宇治市老人福祉センターサークル協議会は、1983年(昭和58年)に発足し、高齢者の健康づくり、生きがいづくりを目的とした、サークル活動を応援しています。

現在17サークル、362名が活動し、福祉活動やサークルの成果を発表する場に向けて練習に励んでいます。

また、趣旨に賛同し新しくサークルを立ち上げたい方も募集します。登録サークルは、民謡、謡曲、茶道、書道、囲碁、詩吟、陶芸、カラオケ、太極拳、大正琴、三味線、ちぎり絵、将棋、コーラス、社交ダンス、編み物、華道です。

場所: 宇治市総合福祉会館

担当: 宇治市老人福祉センターサークル事務局 (本会事務局 22-5650)

家族の交流と相談会 (主催: 青年の社会参加を応援する会「実のり」)

内容: 「何もなかった訳じゃないんですよ。あつという間に息子は40歳になっていました…」相談に来られたお母さんの言葉です。

実のりは、社会に出ていきつかけを失くした若者の新しいスタートを応援しています。若者の孤立を防ぐために家族に何ができるのか、また、社会の受け皿としてどんな取組みができるのか、一緒に考えてみませんか。

日時: 4月1日(土)、5月6日(土) (毎月第1土曜日) 13時~15時

場所: 宇治市総合福祉会館

参加費: 無料(要事前予約)

担当: 黒川美知子 (090-9697-8393)

歌って元気に! (主催: 響けうたごえの会)

内容: なつかしい思い出のメロディが流れるとお互いのパワーに引っ張られて、元気な歌声、素敵なお顔を。思い出話に花が咲いたり、涙したり。大きなお口を開けて大きな声で「歌って元気に!」みんなで楽しんでいます。

日時: 3月21日(火) 13時半~15時、4月18日(火) 10時半~12時、5月30日(火) 10時半~12時

場所: 宇治市総合福祉会館

参加費: 200円。当日直接会場へ。

担当: 林 (080-9164-2882)

第21回志津川福祉の園開園記念祭「わいわいカーニバル」

(主催: わいわいカーニバル実行委員会)

内容: 日頃お世話になっている地域の方々に、施設や利用者の方々に活動を広く知っていただき、交流の輪を深めることを目的に、ステージショーや模擬店、あそびコーナー、手作り製品販売、ミニバザーなどを行います。

日時: 4月22日(土) 10時半~14時

場所: 志津川福祉の園

参加費: 無料。(模擬店は有料。)当日直接会場へ。

担当: 志津川福祉の園 森 (20-9902)

子ども食堂に参加しませんか (主催: NPO 法人こころのはな)

内容: 一人で食べるより、二人、二人で食べるより三人、四人。みんなで食べるおいしいよ。現在約30名のお子さんが来られています。

日時: 毎月第1、2水曜日 16時~19時

場所: 心華寺内 (宇治市神明石塚66)

参加費: 小学生以下、無料。中学生以上、保護者は300円。前日までにお電話を。

担当: 山科 (45-5561)

社会適応訓練講習会 (主催: 公益社団法人日本オストミー協会京都府支部)

内容: オストメイトの社会復帰のための訓練講習会を開催します。ストーマ造設の苦勞を克服しましょう。

日時: 3月18日(土) 13時~16時

場所: 宇治市総合福祉会館

参加費: 無料。当日直接会場へ。

担当: 小田原 (46-5225)

宇治ボランティアフェスティバル&おもいの駅伝

(主催: 宇治ボランティア活動センター)

内容: ボランティア団体のステージ発表や、障がいのある方の発表など。餅つきや障がい者施設の販売、ボランティアに関するシンポジウムもあります。

日時: 3月19日(日) 10時~15時

場所: 宇治市総合福祉会館

担当: 宇治ボランティア活動センター (本会 22-5650)

おもちゃの無料修理 (主催: 宇治おもちゃ病院)

内容: 動かなくなったらすぐゴミ箱行き。親も子も、「モノを大切に作る心」、「なんで動かないの?」という疑問や好奇心を持ってほしい。子どもたちに「科学する心」、「ものを大切に作る心」、「人も大切に作る心」を育てることを目的に、機械いじりの好きなボランティアたちによって構成された病院です。

日時: 毎月第3日曜日 13時~16時

場所: 宇治市総合福祉会館

参加費: 無料。ただし、部品等の交換には実費が必要。当日直接会場へ。

担当: 山田 (090-9619-6645)

精神保健「サロンたよりになる輪」

(主催: NPO 法人生活よろず相談所たよりになる輪)

内容: ボランティアスタッフと参加者全員で、昼食準備を協力して行い、毎回楽しく、おいしいお料理をいただいています。その後、希望される方に、気功によるリラクゼーションの時間もあります。

日時: 毎月第1日曜日 11時~15時

※原則第1日曜日ですが、会場都合で変更することがあります。

場所: 東宇治コミュニティセンター

参加費: 200円。予約不要。当日直接会場へ。

担当: 小林 (38-1272)

大正琴演奏会 (主催: 大正琴ファンタジー琴音人&ミント)

内容: 大正琴のアンサンブル演奏を聴いて、楽しいひと時を共に過ごしましょう。

日時: ①4月8日(金) 10時~

②4月20日(木) 午後(時間未定)

場所: ①圓蔵院 ②平願寺 (宇治市炭山)

参加費: ①、②ともに無料。当日直接会場へ。

担当: ①永谷 (43-5147)、②谷 (43-8981)

ひとり親家庭の放課後の居場所「放課後の家」

(主催: NPO 法人働きたいおんなたちのネットワーク)

内容: ひとり親家庭の子どもが安全に、楽しく過ごせる学びと遊びの場です。学生サポーターによる学習支援、食事作りやお風呂に入るなどの生活支援、相談も実施。月1回の英語学習、栄養士によるバランスケアご飯の日もあります。

日時: 原則月、木曜日(週2~3日)

場所: のびる館 (宇治市宇治下居7-4)

参加費: 1人1回100円

担当: 中野久美 (23-5390)

地域交流スペース事業 (主催: 社会福祉法人 宇治東福祉会)

内容: 障がいのある人たちが、懐かしい歌やアニメソングなどを歌う「うたごえ喫茶のびのび」と、地域で音楽活動をされているサークルや個人の人たちが季節ごとにミニコンサートを開催する「宇治作業所ライブよっといで」という取り組みです。

日時: ①うたごえ喫茶のびのび 4月15日(土) 13時半~15時半

②宇治作業所ライブよっといで 6月10日(土) 18時~20時

場所: ①宇治作業所のびのび、②ワークセンター宇治作業所

参加費: ①100円、②無料(ただし、会場内での販売等は実費)、①、②とも当日直接会場へ。

担当: ①村田 (090-6901-5269)、②山本 (32-2024)

宇治市社会福祉協議会(コラボネット宇治)キャラクター うじピョン

